

トムス RX サイドステップ

このたびは、トムス サイドステップ（以下サイドステップ）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、
「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等
をご参照してください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。（2009年8月現在）

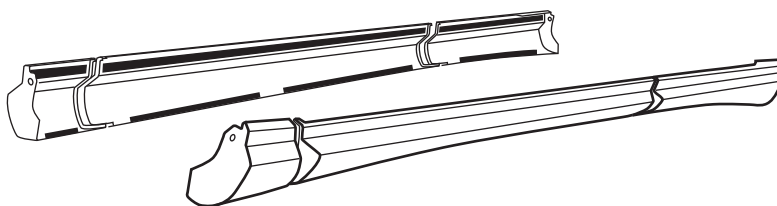
適応車種		
レクサス RX270 (AGL10W)	2010 (H22)	年8月～
レクサス RX350 (GGL1#W)	2009 (H21)	年1月～
レクサス RX450h (GYL1#W)	2009 (H21)	年4月～

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. サイドステップ取り付け作業は、必ず作業員2人で行ってください。
2. サイドステップ脱落防止のため、両面テープは確実に圧着し、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。
サイドステップが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジトラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。
(詳しくは「サイドステップ素地品の塗装手順」を参照の事)
⇒塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行ってください。*60度以上の加熱は製品変形の恐れがあります。
5. ビス取り付けの際は手締めを行ってください。電動ドライバー等を使用しますと部品を破損する恐れがあります。
6. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
(詳しくは「3M PACプライマーN-200 取扱説明書」を参照の事)
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコール等で拭き取り除去してください。
7. 両面テープの接着力は、気温が15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
8. 両面テープの接着力低下防止のため、本製品の装着直後（24時間以内を目安）の洗車は行わないでください。
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
9. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
10. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としています。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。
12. 塗装済み品につきましては使用している材料の違い等により車両本体の色と完全に一致しない場合があります。

本製品は以下のパーツで構成されています。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

①サイドステップR/L×各1セット
(右側3点・左側3点)



②4mmタッピングスクリュー ×14ヶ



③ゴムスペーサー×4ヶ

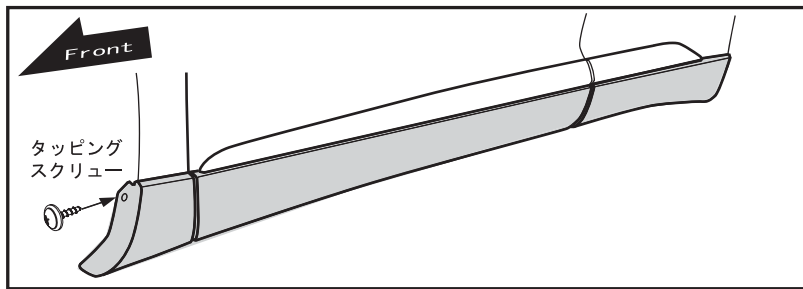


④プライマー×1ヶ

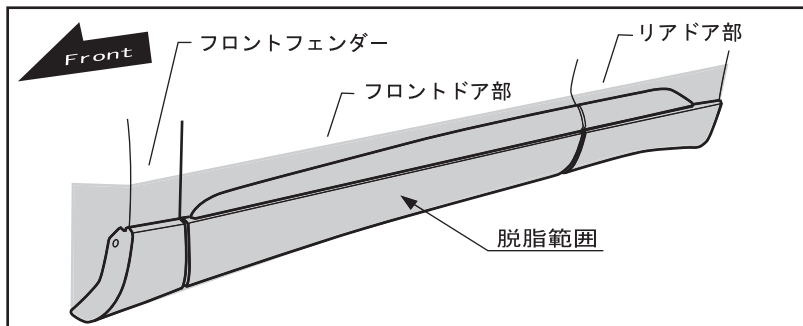


⑤トムスエンブレム×2ヶ

取付手順



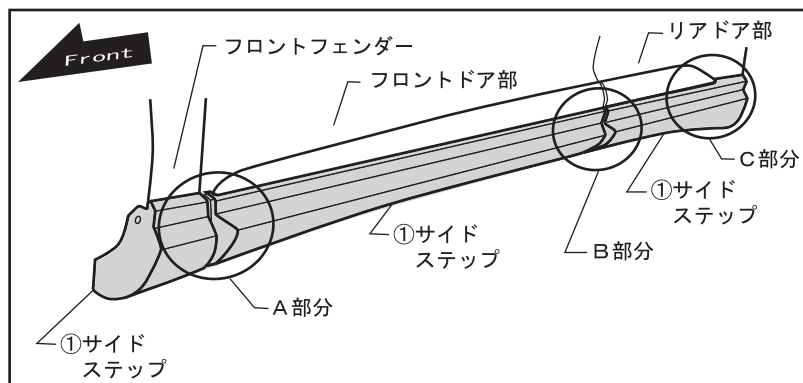
- ①サイドステップ取り付けに再使用するため、タッピングスクリュー 1ヶ所を車両ロックパネルモールディングから取り外す。
(左図参照)



- 車両ロックパネルモールディング部のゴミ、ホコリをウエスで除き脱脂処理を行う。
(左図参照)

注！

脂分の付着は、両面テープの接着力が低下するため、接着面の脱脂処理は十分に行う。



- ①サイドステップをボディにあてがい、フロントフェンダー部を最初に位置決めする。タッピングスクリューを再使用し 1ヶ所仮止めをする。
取り付け位置を確認し、タッチ面アウトラインをマスキングテープでマーキングする。

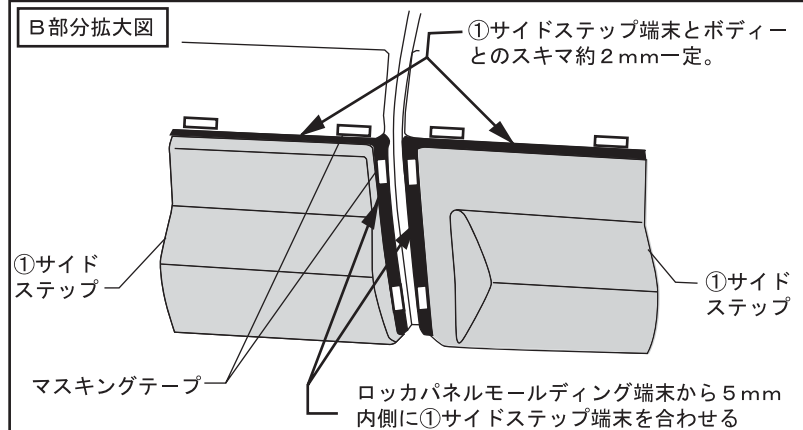
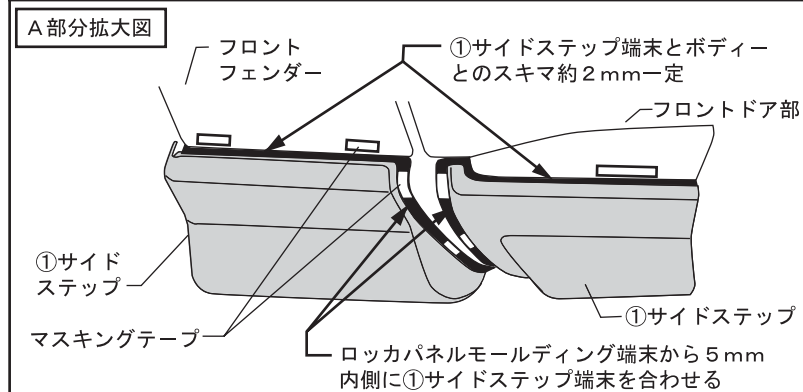


アドバイス

ガムテープでサイドステップを固定すると作業が容易になる。
左図を参考にする。

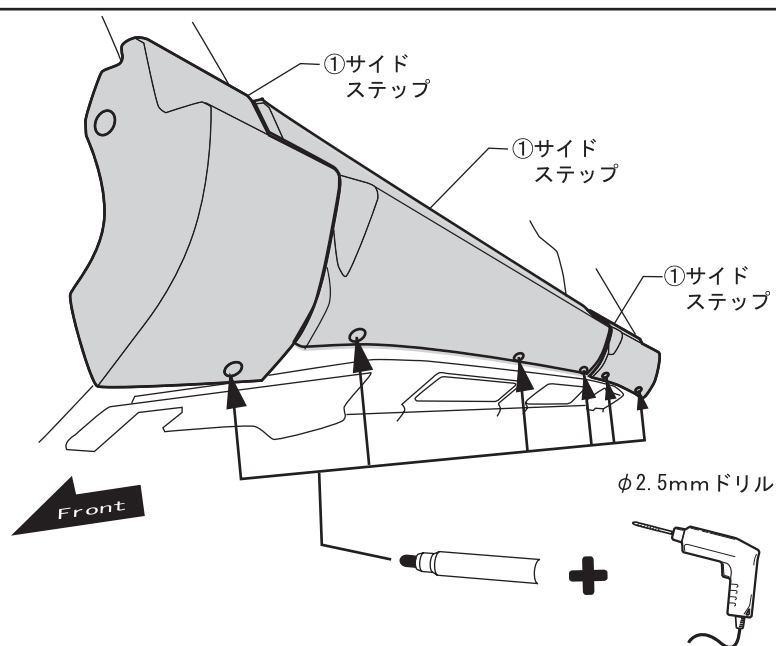
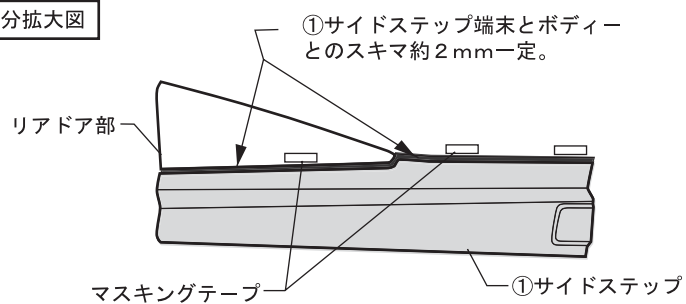
注！

マーキングが正しく行なわれないと、サイドステップが正しい位置に取付けられず脱落の原因となる。



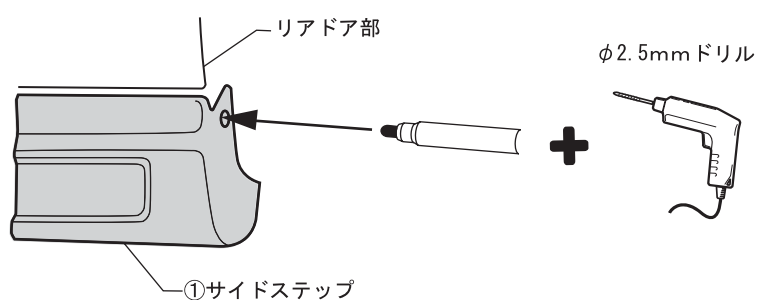
- ④プライマーを塗布するため、①サイドステップ裏面の両面テープ位置を確認し、アウトラインをマスキングテープでマーキングする。(左図参照)

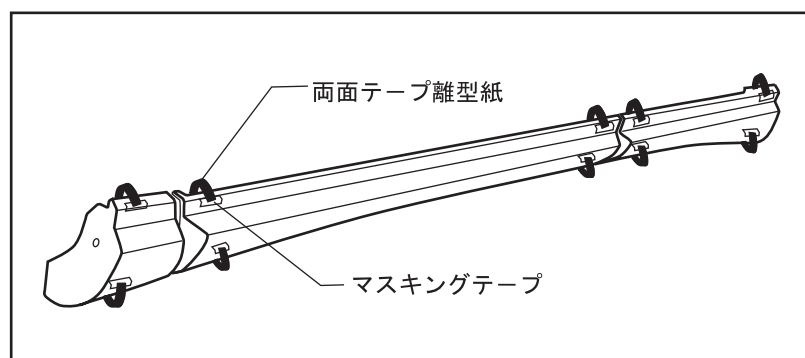
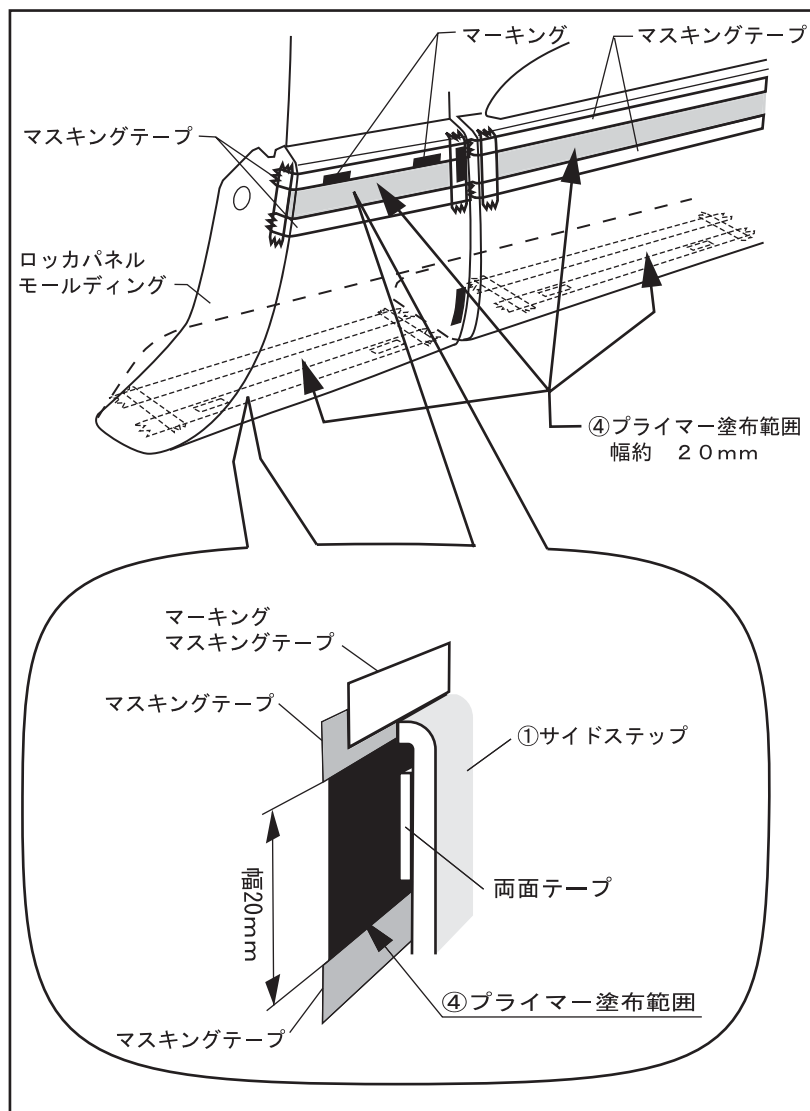
C部分拡大図



5. 取り付け位置を合わせて穴位置をマーキングし、①サイドステップを一度外してからφ2.5mmの穴を左右各7カ所あける。

リヤ側





6. ロッカパネルモールドイングのマーキングに沿ってマス킹テープで、プライマー塗布範囲の外側をマス킹する。
(左図参照)



塗布範囲は、サイドステップ端末からのみだしがないように気を付けて作業を行う。

7. ④プライマー塗布範囲のゴミ、ホコリをウエスで除き脱脂処理を行う。

8. ④プライマーをマス킹テープに沿って塗布し、標準状態で10分以上放置し、十分に乾燥させる。



アドバイス
塗布は連続して2度塗りを行う。

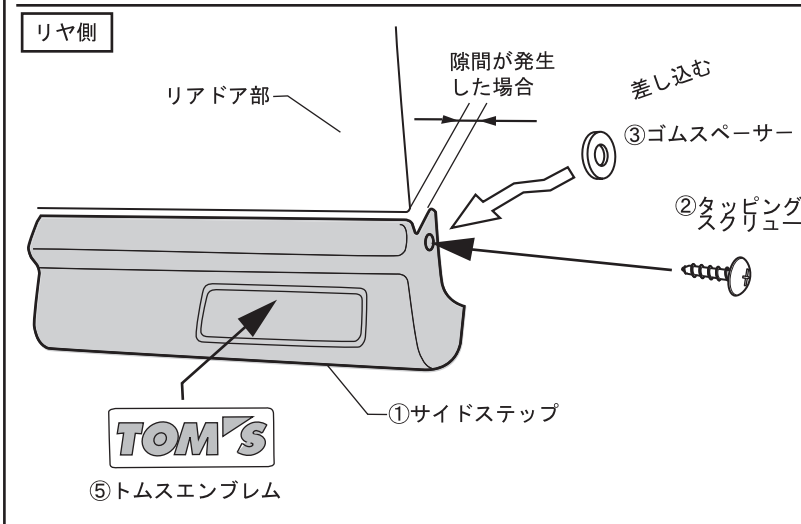
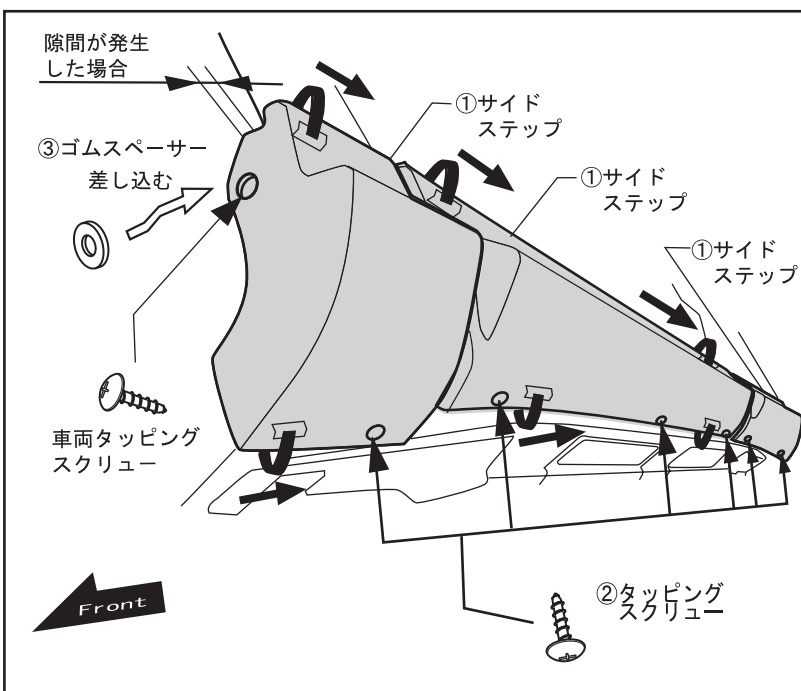
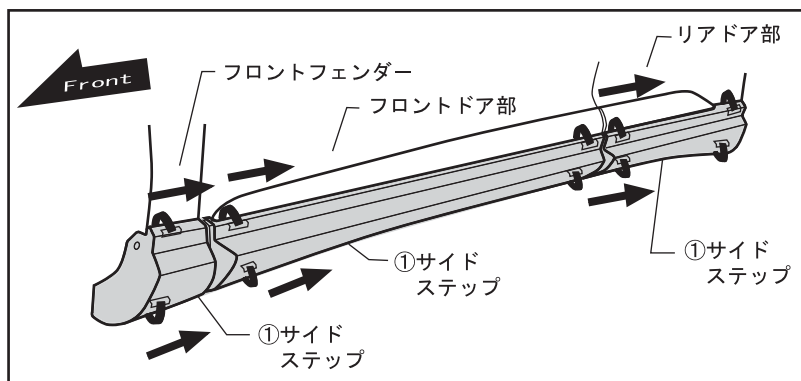


プライマー使用に際しては、3M PACプライマーN200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。



プライマーの乾燥が不十分な場合、両面テープを貼り付けると、プライマーが剥がれるため、乾燥に気を付けて作業する。

9. ①サイドステップ内側の両面テープ離型紙を50mm程剥がし、サイドステップ表面側に折り返し、マス킹テープで貼り付ける。
(左図参照)



10. ①サイドステップをボディにあてがい、前側フェンダーアーチ部を車両装着のタッピングスクリューを再使用し、③ゴムスペーサーを併用し1ヶ所を仮止めする。
後側フェンダーアーチ部を②タッピングスクリュー、③ゴムスペーサーを併用し1ヶ所を仮止めする。
下側部を③タッピングスクリューで7ヶ所を仮止めする。(左図参照)

11. ①サイドステップ前部、後部が下がらないように微調整し、取り付け位置を確認する。

12. フロント側からリヤ側に向かってテープ離型紙を引き抜きながら圧着をする。
(左図参照)

注意

両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディに付かない様に気を付けて作業を行う。

注意

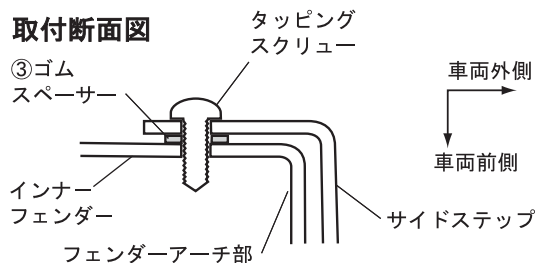
両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49N(5kgf/cm²)〕で行なう。

13. 全ての、タッピングスクリューを増し締め固定をする。

アドバイス

サイドステップの増し締め作業の際、前後のフェンダーアーチ部に隙間が発生する場合はゴムスペーサーを取り付ける。

取付断面図



注意

フェンダーアーチ部のタッピングスクリューを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

14. ①サイドステップのリヤ側の凹部分を脱脂し、⑤トムスエンブレムの離型紙を剥し貼り付ける。

(お問い合わせ)

(株)トムス

TEL 03-3704-6191

月～金 AM9:00～PM5:00

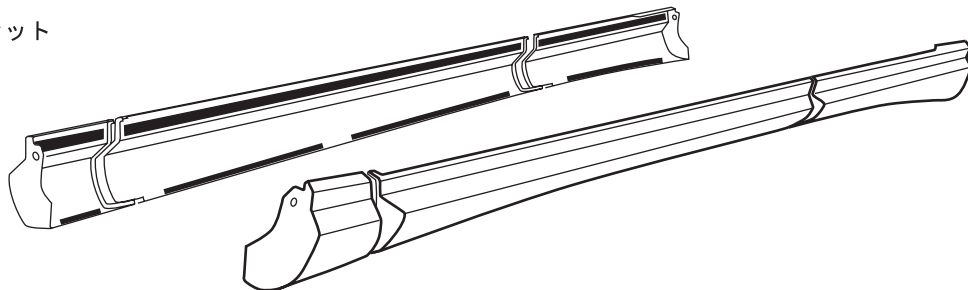
TOM'S

サイドステップ素地品の塗装手順

※素地品は塗装の前に、必ず仮取り付けをし、各部に不具合がないか確認してください。
塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- ①サイドステップR/L×各1セット
(右側3点・左側3点)



- ②4mmタッピングスクリュー ×14ヶ



- ③ゴムスペーサー×4ヶ



- ④プライマー×1ヶ



- ⑤トムスエンブレム×2ヶ

I 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂する。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行なうこと。

注！意

本製品はABS樹脂製のため適切な塗料を使用する。

注！意

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。